

サンポールの車止め

着脱簡単シリーズ発売

基礎工事不要の後施工

旗ポール・車止めのトップメーカー、サンポール(本社「広島市、山根令社長)は、基礎工事不要の後施工で、施工と着脱が簡単にできる車止め「アタッチメントシリーズ」の販売を8月から始める。建物のエントランスや屋内のロビーといった場所での採用を見込む。今後、新たな車止めの施工方法としてアタッチメント式を普及させていきたい考えた。

開発したアタッチメントが分離しており、ベース部と車止め本体を空けてアンカーホール



ピラータイプ⑤とアーチタイプ、アタッチメントカバーを回すだけで簡単に取り外せる

工でできる。本体は、下部のアタッチメント

トを打ち込むだけで施工できる。本体は、下部のアタッチメント

が、同製品は基礎工事が要らないため景観を損なわない。埋設物があり基礎工事ができない場所などでの車止め設置も可能になる。

従来の着脱式の車止めは基礎に施工したさや管に差し込むタイプが主流のため、穴を掘ってコンクリートで固めるなどの基礎工事が必要だった。後施工の場合、舗装されている地面では基礎部分だけが変わってしまう

プのみアルミ製もそろえ、ブラック、ホワイト、アイボリーメタリックから選べる。

同シリーズはピラータイプとアーチタイプの2種類をラインアップ。それぞれステンレス製と、ホワイト、イエロー、ブラウンの3色から選べるスチール製を用意。ピラータイプ

取引先からの要望を受け、タイのグループ会社ではアタッチメントシリーズに似た特注品を製造し、販売していた。バンコク市内の超高層ビルの屋上などで採用されており、施工も着脱も簡単なことから好評を得ているという。

車止めは大きく分けて地面に完全に固定する固定式と、基礎部分から車止めを取り外せる着脱式の2種類があるが、これまで着脱ができて後施工の車止めは販売していなかった。

初年度の販売目標は年間320本とし、数年後をめどに年間1500本の販売を目指す。